



施策33 「次世代」のために▶次世代のための島づくり

未来を見据えた人材育成



今回のテーマは、「次世代」のために～未来を見据えた人材育成～についてお伝えします。

現状と課題

キャリア教育

- ◆児童生徒の就業意識の向上と地域に愛着を持ち将来地元で貢献できる人材の育成のため、キャリア教育を実施しています。
- ◆中学生がまちづくりについて考え、質問や提案などの体験を通して、議会の役割や仕組みを理解し、社会の一員としての自覚や政治への関心を深めることを目的として「子ども議会」を町議会と連携して開催しています。
- ◆高校魅力化プロジェクトの一環として、地域で活躍している人材の協力を得ながら久米島の課題と今後について考える「まちづくりプロジェクト」を実施しています。
- ◆海洋深層水関連産業の拡大やゼロカーボンシティの実現など、次世代のための島づくりを目指すうえで、ものづくり、理系の人材や持続的な環境保全活動を担う人材を育成する必要があります。

各分野における人材育成

- ◆島の目指すべき姿を共有し、島人同士が協力して産業の活性化を図っていくためには、経済5団体が連携し、各分野における人材育成に取り組む必要があります。
- ◆「ニューノーマル」な働き方が全国的に浸透しつつあります。
- ◆介護需要の増加に対応する必要がありますが、サービスの提供を行うケアマネージャー等の人材不足が課題となっています。
- ◆障がい福祉サービスに対応する相談支援専門員等の人材が不足しており、障がい福祉需要への対応が必ずしも十分ではありません。
- ◆保育士の不足により、待機児童が生じています。

施策の展開

地元で貢献できる人材の育成

- ◆経済5団体及び久米島版DMO推進協議会と連携し、児童生徒へ仕事に対する意識付けを行うとともに、地域産業の魅力を伝え、将来島に貢献できる人材の育成に努めます。
- ◆島の将来を担う子ども達が自分たちの住む地域に関心を持ち、理解を深めるための取り組みを推進します。
- ◆高校生が地域の課題や解決策を考える学習機会を引き続き確保するなど、生徒のキャリア形成を図りつつ、地域に必要な人材の育成につなげる取り組みを推進します。
- ◆エネルギーや環境学習などの教育活動等を通して、子ども達の科学や自然環境に対する興味を引き出し、持続可能な島づくりに貢献できる人材育成の取り組みを推進します。
- ◆横断的な産業振興を図るため、経済5団体及び久米島版DMO推進協議会が連携した人材育成を推進します。
- ◆専門職の育成強化や安定的な確保に向けて、人材バンクの活用や地域おこし協力隊の活用を検討します。
- ◆島内にいながら都市部の仕事を行うテレワークなど「ニューノーマル」な働き方に対応できる人材育成を促進します。
- ◆ケアマネージャー、相談支援専門員など介護・障がい福祉に携わる人材の育成・確保に向けて、島内で参加できる研修会やオンラインを活用した資格取得や更新に係る研修会の開催、奨学金の拡充などの支援に努めます。
- ◆待機児童の解消に必要な保育士の確保・育成の取り組みを推進します。



小学生キャリア教育の様子（久米島空港）



子ども会議の様子

目指そう指標

将来、久米島で暮らしたい
中高生の割合
(中学生アンケート)

基準値(令和2年)

35.8%

目標値(令和7年)

80%

前村幸秀人材育成
基金活用生徒数

基準値(令和2年)

50人

目標値(令和7年)

55人

後期基本計画の全体版は久米島町ホームページに掲載しています。

右のQRコードか、「久米島町総合計画」で検索し、ぜひご覧ください▶▶▶

久米島町総合計画

検索

